

# 生涯青春

No.62

平成17年12月 かがわ

● 青春いきいきインタビュー／地域の子どもは地域の宝。そんな思いをみんなが持てば、世代を超えて触れ合い広がる。  
● 仲間の話／かがわ長寿大学いちよん会、史跡探訪ウォーク



みんな  
おいでよ!



# かがわ長寿大学



## 平成18年度入学 受講生募集!

### 1 開講日時

- 平成18年4月から平成20年3月まで(2年制)
- 年間26日間・1時限90分・1日2時限  
(第1時限…10:00~11:30、第2時限…13:00~14:30)
- 1年生は原則として月曜日、2年生は原則として火曜日に開講します。

### 2 場所

香川県社会福祉総合センター7階 大会議室(高松市番町1丁目10番35号)

### 3 受講資格

- 下記の条件を満たす方
- 香川県在住で、満60歳(平成18年4月1日現在)以上の方
  - 過去にかがわ長寿大学を受講したことがない方(かがわ長寿大学地域セミナーのみを受講したことがある方については、受講資格があります。)

### 4 受講料

1年間につき12,000円(教材費等の一部として)

### 5 募集人員

170名(申し込みが多いときは、選考基準を設け、第三者による公開抽選を実施。受講者の決定は4月上旬の予定)

### 6 申し込み

往復はがきに、右記の記入例のとおり記入し、お申し込みください。



必ず往復はがきで  
申し込んでネ

<input type="checkbox"/> 760-0017 かがわ健康福祉機構 行 高松市番町二丁目 〇一三五	記入不要 	<input type="checkbox"/> 〇〇〇-〇〇〇〇 申込者のお名前 行 ご自宅の住所	●かがわ長寿大学受講希望 ●〒住所 ●氏名(ふりがなを記入) ●生年月日・年齢・性別 ●ご自宅の電話番号
〈往信面 あて先〉	〈返信面 裏面〉	〈返信面 あて先〉	〈返信面 裏面〉

記入例

### 7 募集期間

平成18年2月1日(水)~2月28日(火) 当日消印有効

### 8 講座科目

全科目受講必修

科目	歴史	社会・生活	文化	健康	福祉	行事
内容	郷土史 民俗考	行政 放送 情報	交通安全 法律 経済	趣味 美術 文化 生涯学習	健康管理 運動 精神保健	介護 予防 住宅

### 9 進級

1年生から2年生への進級については、一定以上の出席日数が必要です。

### 10 申し込み先

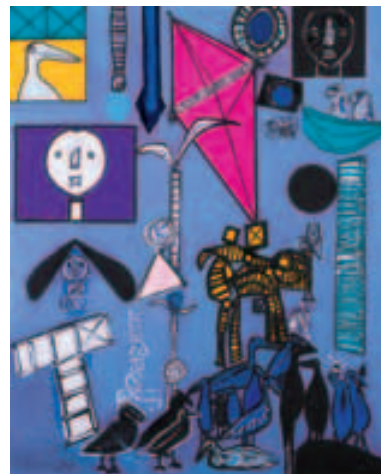
〒760-0017 高松市番町一丁目10番35号 財団法人 **かがわ健康福祉機構**  
1087-863-0222

# 目次

- 2 青春いきいきインタビュー **地域の子どもは地域の宝。**  
**そんな思いをみんなが持てば、世代を**  
**超えて触れ合い広がる。** 「至福会」の皆さん
- 6 はつらつ人間のすすめ **その8 高感度を高める 人間関係の築き方**  
香川銀行能力開発研究所所長 倉本 英雄
- 8 **Q&A 介護保険施設の費用負担の変更について**  
香川県長寿社会対策課 保険者指導グループ
- 10 **財団だより 第18回全国健康福祉祭ふくおか大会 ねんりんピック**  
**クふくおか2005 第15回香川県健康福祉祭 香川ねんり**  
**んピック2005開催**
- 12 **青春おたより倶楽部 平和憲法に思う** 宇田 穎悟郎  
**「遅かったのオ…」** 東條 千恵子 **短歌・俳句・川柳**
- 14 **シルバー作品展 洋画「麻屋」** 前田 清光 **「華」** 三崎 暁子  
**日本画「明けゆく棚田」** 榎 哲 **「陽光」** 嶋田 幸子
- 15 **ふるさと探訪 宮武外骨** フリーライター 小川 太一郎
- 18 **仲間の話** かがわ長寿大学いちよん会 岡田 紀一  
史跡探訪ウォーク 川井 光敏
- 20 **老人クラブだより** 庵治町老人クラブ連合会 新開地区会長 田村 露子  
国分寺町老人クラブ連合会 第三西クラブ会長 吉田 正

長寿社会への総合情報誌

# 生涯青春



鳥とカイト (1992年)

猪熊が晩年、冬の間を過ごす場所をハワイに決定するには、気候による過ごしやすさがあったのではないのでしょうか。この年猪熊がハワイで過ごしたのは1月中旬から約2ヶ月の間。この時期のハワイの気温は観光ガイドによると、最低で18度くらい、最高で27度から28度くらいということです。服装も半袖と長袖の人がまばらにいて、日本でいうと9月くらいのものでしょうか。毎年、猪熊は冬になるとハワイに渡り、制作を続けました。気候の温暖なハワイは、動物や植物にとっても住みやすい場所であり、事実、ハワイ固有の鳥ミツスイをはじめとする多くの鳥が生息しています。

日常生活から様々なイメージを拾いあげる猪熊の作品には、ハワイでの生活で発見したのか、多くの鳥のイメージが登場します。今回の表紙作品《鳥とカイト》には、足の長い鳥、短い鳥、くちばしの大きな鳥、ペンギンのような鳥と数種類のイメージが描きこまれ、そこに同じく空を飛ぶものとして「カイト(凧)」が一緒に描かれています。

<猪熊弦一郎略歴>

1902(明治35)年、香川県高松市に生まれる。

東京美術学校(現東京芸術大学)で藤島武二氏に師事。

1955(昭和30)年渡米。晩年、ハワイにアトリエを移す。

1991(平成3)年、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館開館。

1993(平成5)年5月17日逝去、90歳。

[丸亀市猪熊弦一郎現代美術館提供]

62号

平成17年12月



児童から贈られたメッセージをバックにメンバーが勢ぞろい

# いきいき 青春インタビュー

## 地域の子どもは地域の宝。 そんな思いをみんなが持てば、 世代を超えて触れ合い広がる。

未来を担う子ども達は地域の宝。  
そんな子ども達すべてを我が子のように大切に慈しみ、育てる。  
そんな古き良きコミュニティを復活させたい。  
今回の「いきいきインタビュー」は、地域の子ども達の安全を守ろうと  
下校時の安全パトロールに取り組んでいる  
東かがわ市の老人クラブ「至福会」の皆さんをお訪ねしました。

### 子供たちの安全は 自分たちの手で守る

澄み切った秋空から穏やかな日差しが降り注ぐ  
秋の日の午後、本町小学校の校門周辺に「防犯パ  
トロール」と書かれた黄色い腕章を付けたお年寄  
り達が立つ姿が見える。時折しも一、二年生の児  
童の下校時刻。程なく、かわいらしい歓声が拳  
がったかと思うと、黄色いカバーをかけたランドセ  
ルを背負った子ども達がはしゃぎながら校門へと  
やってきた。「こんにちは」と元気のよい声が掛か  
る。パトロールのお年寄り達も返事を返しなが  
ら、子ども達の安全に目を光らせる。この黄色い腕章  
を身に付けたお年寄りが「至福会」の皆さんだ。  
至福会は、それまで老人クラブに加入していな  
かったゲートボールクラブ「松原クラブ」の会員八  
人が発起人となり平成十六年四月に発足。スポー  
ツやボランティア活動を通じて、健康増進、地域  
社会への貢献を図ることを目的としている。現在、

会員数は二十四人。平均年齢は七〇・一六歳とい  
うが、地区のゲートボール大会で常に上位を占める  
ほか、防犯パトロールや海岸清掃などに取り組むな  
ど、年齢を感じさせないパワーを発揮している。  
防犯パトロールを始めたのは今年五月のこと。  
きっかけは、東かがわ署管内で不審者による児童  
への声掛けや不審者の出没が頻発していたことを  
知った成瀬常雄会長が、「最近の治安の悪さは都  
会も田舎も関係ない。何かあってからでは遅すぎ  
る」とメンバーに声を掛け、交代で不審者などに  
目を光らせることを決めた。  
最初はぎこちなかった子ども達との関係も、毎  
日顔を合わせるうち子ども達のほうから声を掛け  
てきてくれるようになった。「メンバー一同、元氣  
な声を聞くのが励みになっていっているのか、誰も休ま  
ない。体調管理にも気を遣うようになり、以前よ  
り元氣になった気がする」と話す成瀬会長の顔に  
は、満足そうな笑みが浮かぶ。



海岸に打ち上げられたゴミをみんなで回収

## 黄色い腕章が安心の証 児童との交流スムーズに

**大路** 私が防犯パトロールに参加したのは、メンバーの一人に誘われたのがきっかけ。孫も本町小学校に通っているんですが、白鳥の松原のあたりは何をしているのか分からない不審者が多いですね。最近はず前と午後、健康のため散歩する時にも防犯パトロールの黄色い腕章をつけて歩いています。

**佐野** 防犯パトロールは現在、メンバー十三人がローテーションを組んで、個人的な事情で参加できない時は互いにカバーし合って実施しています。できれば、他の老人クラブも含めて地域全体で



ステッカーを貼った自前の車で、いざパトロールに出発

協力してもらえたらと思います。他の老人クラブにも話を持ちかけているのですが、持ち帰って検討するという話はあっても、すぐに始めようというところはまだないですね。(笑)

**細川** 私達は全員、黄色い腕章のほかに名札を付けています。これは、子ども達に名前と顔を一緒に覚えてもらって安心感と信頼感を持ってもらえたらと思って始めたこと。最終的に児童とスムーズにコミュニケーションできればと考えています。

**成瀬** 学校の先生方も、黄色い腕章を付けている人は安心だけど、そうでない人から声を掛けられたら注意するよう話を子ども達にしているようです。この腕章を付けていれば、子ども達も安心するみたいです。

**佐野** 最近感じているのは、子ども達があいさつをしてくれるようになったこと。こちらが知らなくても、向こうから「おじちゃん、こんにちは」と声を掛けてくる。

**成瀬** 最近はずスーパーなどに行くとお母さんが「いつもありがとうございませす」とお礼の言葉を掛けてくれます。私は防犯パトロールの車に乗っていますが、先日、ある児童から「パトロールのおじちゃん、事故だけは起こさないでね」と声を掛けられました。家内からも子ども達に叱じらないようスピード違反などには注意するようはっぱを掛けられました。(笑)

**成瀬** 防犯パトロールは、学校の校門、交差点、児童館へいく道など、所要所に立って子ども達に危険がないよう誘導するほか、学校から遠く離れた家へ一人で帰るような子どもについては

防犯パトロール車で家に帰るまで見届けることもやっています。

**佐野** 子ども達が、すんなり家に帰ってくれたらいいんですが、あっちへ寄ったりこっちへ寄ったり。(笑)

**金地** 家が学校から遠い場合は、隣接する老人会や地域の方々の理解が得られて一人でも二人でも協力していただければ、もっと効果が挙がると思うんですが。



なるせ つねお 成瀬 常雄さん (71歳)

## 実効性を挙げるには 父兄の協力が不可欠

**成瀬** PTAの皆さんは、登校時には通学路の角々に立って子ども達の安全に気を配っています。仕事を持っていますので夕方時間帯は難しい事情があります。そういう意味でうまく役割分担はできると思いますが、一度意見を聞きたいと思います。



危険マップ

**金地** 防犯パトロールは父兄の理解がなければできません。しかし、父兄の中には案外無関心な方もいます。理解のある父兄の子どもは、概して私たちの言うことをよく聞いてくれる。(笑)

**大路** パトロールをやっているのは、今の子ども達がこちらの言うことをなかなか聞いてくれないこと。こちらが十三人しかいないこともあって、一人ひとりに目を配るのは難しいですね。

**金地** 学校から一、二年生の下校時刻を知らせてはいただけませんが、さっさと帰るグループもいれば、ふざけながら寄り道する子ども達もいますから。

**細川** 下校時は生徒によって帰る時間帯の幅が広いので対応が難しいですね。学校やPTAなどの懇談会の席で、集団登校みたいに下校してもらえないかという話をしてみよいかと話をしています。

**金地** 学校の通学路には、子どもが何かあった時の駆け込み寺のような「子どもSOS」を引

き受けているお宅もあります。学校から声を掛けて、協力をお願いしていけばいいんじゃないでしょうか。

**大路** うちも子どもSOSになっています。白鳥の松原の松林に逃げ込んだら分からなくなりまして、何かあったらいつでも来なさいと言ってはあります。

**細川** ただ、子どもSOSとのタイプアップといっても、SOSは受動的な受け入れ先。我々は能動的な活動ですから、一緒にやりましょうと言って話に乗ってきてくれれば大歓迎なんです。

**大路** 私のうちは最初からSOSを引き受けているんですが、幸か不幸か子どもが飛び込んできたケースはまだありません。開店休業という状況ですね。(笑)

## 行政との連携深め 防犯の輪をもっと広く

**佐野** これからは、できるだけ多くの父兄の皆さんと手を携えて活動していけるようになればと思っています。今はまだ呼び掛けのようなこともやっていませんが、徐々に父兄の皆さんにもこういう活動が浸透していくのではないかと思います。

**成瀬** 防犯パトロールを始めてから、体の健康管理には気を遣うようになりました。病気になるって、子ども達か



おおじ  
**大路**  
やすお  
**安男さん**(71歳)



さの  
**佐野**  
つとむ  
**勉さん**(75歳)





児童から感謝の絵手紙を贈られたメンバーの皆さん

ら「あのパトロールのおじちゃん、最近見かけんな」と言われるのも辛いです。おかげで健康面でも精神面でも元氣になれたと感じています。

**金地** 私の場合は子供を見る目が変わりました。自分の考えだけを通すのではなく、子どもの言うことを聞く気持ちが出てきたと思います。子どもが言うことに対して親は一方的に叱るけど、何か訴えることがあってそう言っているんだと感じられるようになりました。

**細川** 私自身はパトロールを通して社会に貢献し



◆ ◆ ◆

パトロールを始めて六カ月余り。子ども達とも親しくなって、気軽に声を掛けられるようになった。夏休み前には、小学一年生の子ども達から感謝の絵手紙も届いた。世代を超えたこんなすばらしい関係が地域全体に広がれば、犯罪のない明るい地域づくりも夢ではない。至福活動は、そのさきがけになるものと言えよう。

ているんだという自負が生まれてきたというのが、活動を始めてから変わったことと言えるかもしれないですね。

**金地** 私達がやっているゲートボールチームも前から「信頼と連携」をモットーにしていますが、子どものパトロールについても同じ。子どもや仲間との信頼関係、学校や地域、行政との連携があつてこそ、できることなのです。

**成瀬** 私たちの活動は、東かがわ市の広報や新聞などにも取り上げられて、徐々に理解は進んでいると思います。もう少し理解が進めば各地区でも活動が盛り上がりつつあると思います。

ほそかわ  
**細川**

たつお  
**辰雄さん**  
(75歳)

かねじ  
**金地**

あきら  
**昭さん**  
(75歳)

### 高感度を高める

## 人間関係の築き方

倉本 英雄

●くらしとひでお

(香川銀行能力開発研究所所長)



香川銀行能力開発研究所所長。香川ヨー  
方道友会会長。香川大学講師。理学博士。  
大阪大学名誉教授の佐保田鶴治博士に師  
事。四国新聞文化教室やNHK文化セン  
ター、かがわ社会保険センターの講師とし  
て、また企業や官公庁などの研修や講演  
等でも活躍中。四国新聞に心身の健康法  
を10年間連載。高松市文化奨励賞、東久  
邇宮記念賞、高松市市政功労賞、憲法記  
念日知事表彰「健康づくり功労」を受賞。

「良樹細根」と言われるように、大樹は地中に広く深く細かな根をいっぱい張りめぐらせ、大地にしっかりと根づいています。人も同じで、自分一人では生きられません。心のつながった友が多いほど豊かな人生になるでしょう。

では、潤いのある好意的関係を築くにはどうすればいいのでしょうか。そのためには、人の心の奥底に潜む切実な願いを知り、気持をくみとり、かなえてあげることです。そのことで、人は感謝し、喜び、心を開き、味方になり、協力者にもなってくれるでしょう。心の奥深くにある願いとは「認められたい、理解されたい、重要視されたい、評価されたい、ほめられたい、よく思われたい、尊敬されたい、お役に立ちたい、大事にされたい、愛されたい」の十四の

鯛です。この切なる願いを全力でかなえてあげましょう。具体的には次の十二項目をお勧めします。

#### ① 好感のもてる挨拶を。

明るい挨拶の言葉の奥には「元氣ですか！仲良くしましょう！お互いがんばりましょう！」の感情も秘められています。先に挨拶を。

#### ② 元氣よく返事をする。

打てば響くように「ハイッ」と返事すると必ず好感をもたれます。「ハイハイ」の



重ね返事は軽薄に感じ、「なんだスカ」の抗議めいた口調では好感度ゼロ。

#### ③ 優しいまなざしとほほ笑みを。

和やかな笑顔は「あなたにお会いして楽しい」「仲良くしましょう」…の意思表示です。明るく笑顔は、周りの人の心のオアシス。慈眼と和顔は、親愛の情を育む王者です。



④ 相手を立てる。

「あなたがいないとダメなんです」に、ふるいたちますが「あなたがいなくても平気ですよ」ではガツクリ。相手を尊重し立ててあげましょう。



⑤ 相手に関心を示す。

自分にしか関心がない人は、相手にも関心をもたれません。表情や態度でも「あなたは私にとって大切な人です」との意思表示を。

⑥ 名前に光を当てる。

名前を呼ぶのは「あなたの存在をしっかりと認めていますよ」のサイン。名曲のように美しく響き、親密度を増し、敵意さえ消す。名前の波動“。

⑦ 共通項を話題に。

「山歩きが好きなんですよ」

「おや、あなたも？」と直ちに親近感を覚えます。共通項で仲間意識が生じ、一体感や連帯感が強まり、相手の心も開くでしょう。

「おや、あなたも？」と直ちに親近感を覚えます。共通項で仲間意識が生じ、一体感や連帯感が強まり、相手の心も開くでしょう。

⑧ 心からほめる。

ほめ言葉は、陽光と同じように人の長所をすくすくと伸ばすので、だれからも歓迎されます。ほめ上手な人は、好意をもって人を観察しているので、人から好かれ大切にされます。

⑨ 共生、互恵の生き方を。

人を生かし、人に喜びを与え自分も伸びる共存共栄の心で。共鳴と共感を。相手の立場になりきって考える。競争よりも共生を。他人が花開くために手助けする。



⑩ してあげる側に。

慰められたいより慰めてあげ

る。ほめられたいより、ほめる側に。いたゞくより、差しあげる。自分さえよければよい、人のお役に立つ人生へ。愛されたいより、愛する側へ。

る。ほめられたいより、ほめる側に。いたゞくより、差しあげる。自分さえよければよい、人のお役に立つ人生へ。愛されたいより、愛する側へ。

⑪ 聞き上手になる。

体を真正面に向け、身を乗り出し、ほほ笑みを浮かべ「お父さんうなぎ」であいづちを打ちましょう。つまり「驚く。同意する。賛嘆する。うなづく。疑問を発する」の五つです。



⑫ 感謝とねぎらいを。

「ありがとう。あなたのお陰です」と言われると、自己重要感“が満たされ「自分は大切な人間として認められている」と感じ、喜びに。天地方物に感謝し、針小棒大に喜ぶ人は喜ばれます。

人生は、人と人との出会いの連続です。人の一生は、邂逅の歴史でもあります。教育哲学者の森信三先生は、「時を守り、場を浄め、礼を正す」ことの大切さを説きました。人の世は、時間と空間と人間関係から成り立っています。いつも、きちんと時間を守る人。その人が現れただけで、その場が、明るく温かく、清らかな雰囲気包まれる。そして、常に誠実さのあふれる礼儀正しい人…。これらを兼ね備えれば、すばらしい人生が拓けゆくでしょう。



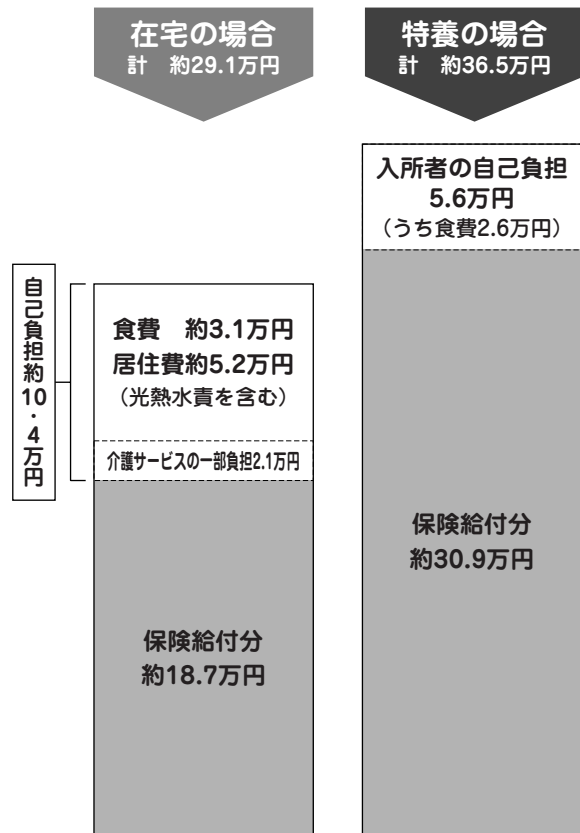
人生は、人と人との出会いの連続です。人の一生は、邂逅の歴史でもあります。教育哲学者の森信三先生は、「時を守り、場を浄め、礼を正す」ことの大切さを説きました。人の世は、時間と空間と人間関係から成り立っています。いつも、きちんと時間を守る人。その人が現れただけで、その場が、明るく温かく、清らかな雰囲気包まれる。そして、常に誠実さのあふれる礼儀正しい人…。これらを兼ね備えれば、すばらしい人生が拓けゆくでしょう。



# 介護保険施設の 費用負担の変更について



〔図1〕現在の在宅と施設の利用者負担のちがい（例）



※単身の要介護5の高齢者について比較したもの

・介護サービスと生活費の所要額の合計で比較すると、在宅の場合は、月額約29.1万円のうち自分で支払わなければならない額が約10.4万円、特養入所の場合は、月額約36.5万円のうち、自己負担額が約5.6万円となっています。

## Q1

介護保険法が改正され、この10月から、介護保険施設の費用負担が変更になったと聞きましたが、どう変わったのでしょうか。

（利用者） 今回の改正で10月以降、施設に入所している方にも在宅の方と同様の負担をしていただくため、施設入所にかかわる居住費や食費は保険給付の対象外になりました。（利用者の自己負担となりました。）

## A

今年の9月まで、特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設に入所している場合、居住費や食費（材料費を除く）は、介護保険から給付されていました。しかし、在宅でサービスを受けている方は、居住費や食費をすべて自分で出費しているため、在宅者の費用負担額の方が多くなっていました。（図1）

・居住費とは…施設の利用代（部屋代など）+電気、ガス、水道などの光熱水費  
 ・食費とは…食材料費+調理コスト

【対象となる施設とサービス】  
 ・介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設の3施設における居住費と食費  
 ・短期入所生活介護・短期入所療養介護（ショートステイ）における居住費と食費  
 ・通所介護（デイサービス）と通所リハビリテーション（デイケア）における食費

## Q2

居住費や食費の自己負担はどのようになるのでしょうか。

## A

居住費については、施設の居住環境に応じて自己負担額が異なります。国が示した標準的な算定例では、ユニット型個室が室料と光熱水費との合計で月額6万円、これに準じたユニット型個室及び従来型個室が5万円、四人部屋などの多床室が光熱水費のみで1万円となっています。

また、食費については、居住環境にかかわらず月額4万2千円となっています。ただし、この額はあくまで目安であり、実際は利用者と施設との間の契約によって定まることになります。

なお、所得の低い方については、サービス利用が困難とならないよう、費用負担の軽減制度が設けられています。

・ユニットとは…個室と少人数の家庭的な雰囲気の中で生活できる共同生活室で一体的に構成される場所の単位



# 香川県長寿社会対策課

保険者指導グループ

心配ごと悩みごとについては、高齢者総合相談(電話 087-863-4165)へお気軽にご相談ください。相談は無料で、秘密は厳守いたします。

## 【利用者負担段階：利用者の所得状況等に応じた負担段階】

利用者負担段階		対象者例
補足給付対象	第1段階	・市町村民税世帯非課税の老齢福祉年金受給者 ・生活保護受給者
	第2段階	・市町村民税世帯非課税であって、合計所得金額+課税年金収入額 ≤ 80万円/年を満たす者
	第3段階	・市町村民税世帯非課税であって、利用者負担第2段階該当者以外の者 ・市町村民税課税層における特別減額措置の適用がある者
	第4段階	・市町村民税本人非課税者 ・市町村民税本人課税者

介護保険から給付されます。  
 なお、負担軽減を受けるには、申請が必要ですので、お住まいの市町の担当窓口へお問い合わせください。

# A

低所得の方には、施設利用が困難とならないよう、一定額は保険給付されます。  
 低所得の方は所得状況等に応じた負担限度額までを負担し、残りの基準費用額との差額は

# Q3

介護保険施設の費用負担が変更になったことに伴い、低所得者には一定の負担軽減があると聞きましたが、どのような制度があるのでしょうか。



## 【負担限度額及び基準費用額一覧表】

区 分	負担限度額			基準費用額		
	第1段階	第2段階	第3段階			
居住費	ユニット型個室	2.5万円	2.5万円	5.0万円	6.0万円	
	ユニット型準個室	1.5万円	1.5万円	4.0万円	5.0万円	
	従来型個室	老健・療養型	1.5万円	1.5万円	4.0万円	5.0万円
		特養	1.0万円	1.2万円	2.5万円	3.5万円
多床室	0円	1.0万円	1.0万円	1.0万円		
食 費	1.0万円	1.2万円	2.0万円	4.2万円		

また、上記以外にも社会福祉法人等による利用者負担軽減制度があり、この制度の軽減対象者に該当する場合、利用者負担額の4分の1(市町村民税世帯非課税者のうち、老齢福祉年金受給者については2分の1)が負担軽減されます。  
 なお、この負担軽減を受ける場合にも、申請が必要ですので、お住まいの市町の担当窓口へお問い合わせください。

### 【対象者の要件】

市町村民税世帯非課税者であって、次の要件の全てを満たす方のうち、その方の収入や世帯状況、利用料負担等を総合的に勘案し、生計が困難であるとして、市町村が認めた方。

- ・年間収入が単身世帯で150万円、世帯員が1人増えることに50万円を加算した額以下であること。
- ・預貯金等の額が単身世帯で350万円、世帯員が1人増えることに100万円を加算した額以下であること。
- ・日常生活に供する資産以外に活用できる資産がないこと。
- ・負担能力のある親族等に扶養されていないこと。
- ・介護保険料を滞納していないこと。

第18回全国健康福祉祭  
ふくおか大会  
ねんりんピック  
ふくおか2005

高齢者を中心とするスポーツ・文化・健康・福祉等の総合的なイベントである全国健康福祉祭（愛称「ねんりんピック」）は、今年度は第18回全国健康福祉祭ふくおか大会（ねんりんピックふくおか2005）として、「長寿の話 ひろげて人の輪 アジアの和」をテーマに、福岡市など福岡県内十五市一町を会場に、十一月十二日から四日間にわたり開催されました。



県選手団の結団壮行式

出発に先立ち、県選手団結団壮行式が十一日に行われ、

選手・役員百三十名が健闘を誓いました。結団壮行式では、川北副知事が和泉数彦県選手

団団長に県旗を授与し、「郷土香川の代表として、自信と誇りを持って活躍するとともに、全国の選手と交流を深めてほしい」と激励しました。和泉団長は「ねんりんパワーを存分に発揮し、それぞれの分野で精いっぱい頑張ってください」と決意を述べました。

大会期間中は、好天に恵まれ、一万人を超える参加者が全国から集まり、観客も延べ五十五万人にのぼるなど盛大に開催されました。それぞれのスポーツ・文化交流大会では、選手の皆さんが生き生きとしたプレーを見せるとともに、地域を越えて他の県の選手や開催県である福岡県の皆さんとの交流や友情をはぐくんできました。また、アジア色豊かなオリジナルイベントを始め、健康、福祉生きが



総合開会式で入場行進する県選手団

い関連の様々なイベントを通して幅広い世代が交流を深めるなど、心温まる祭典となりました。県選手団も次のとおり大いに活躍しました。

全国健康福祉祭上位入賞者

- 〔団体の部〕
- 卓球（第二位グループ） 第三位 香川県
- ソフトボール 優秀賞 瀬戸大橋クラブ
- ベタング 第二位 ハッピー
- 剣道 優秀賞 香川県
- なぎなた 試合競技 第三位 香川県
- 演技競技 準優勝 香川県
- ソフトバレーボール（第一位グループ） 準優勝 とらまる
- ソフトバレーボール（第三位グループ） 準優勝 とらまる
- 〔個人の部〕
- ゴルフ（B（65〜69歳）ブロック） 第三位 藤本 文雄
- なぎなた（交歓試合） 第三位 藤本 文雄
- ボウリング 第一会場 第三位 香川 隆子
- 女性部 第十位 味内 京子
- 囲碁 Fブロック 第三位 山口 柳二
- 美術展（書の部） 厚生労働大臣賞 金田スミ子
- 最高齢者賞受賞者 三木 忠雄
- ソフトテニス（八十八歳）



第15回香川県健康福祉祭  
香川ねんりんピック  
2005開催

高齢者のスポーツと文化の祭典「香川ねんりんピック2005」が、今年も盛大に開催されました。

十月三十日に「ねんりんスポーツ交流大会」として県総合運動公園などで、グラウンド・ゴルフ、ベタングなど十一種目のスポーツ競技が、県社会福祉総合センターでは「囲碁・将棋大会」がそれぞれ開催され、二千五百人を超える選手達が日頃培った力や技を存分に発揮して熱戦を繰り広げ、お互いの交流を深めました。

このうち、県総合運動公園では真鍋知事の出席のもとスポーツ競技の



スポーツ交流大会開会式

開会式を行った後、各スポーツ競技とあわせて、老人クラブによるもちつき大会、長寿大学卒業生らによるハワイアンダンス、保育園児による和太鼓演奏や子供達によるフラメンコやバトントワリング、あるいはニュースポーツや鍼灸マッサージの体験などのイベントを実施し、子供からお年寄りまでが楽しめる、世代を超えた交流とふれあいの場づくりになりました。

またこれに先立ち、九月九日から十一日まで県歴史博物館でシルバール作展を開催し、日本画や洋画、彫刻、書など九十点の応募作品と、各審査員の作品を展示しました。

県健康福祉祭スポーツ大会優勝者

- ゲートボール(チーム)
  - 1コート 飯山真時
  - 2コート 松原
  - 3コート 庵治
  - 4コート 坂出同好会
  - 5コート 豊浜
  - 6コート 下等居
  - 7コート 城西
  - 8コート ブルーム
  - 9コート 宇多津A
  - 10コート 木太
  - 11コート 肥土山
  - 12コート 円座
  - 13コート ミツキーズ
  - 14コート 引田
  - 15コート 蒲生
- ソフトテニス
  - 男子ダブルス 60歳以上 田方 豊廣・三野 忠彦
  - 女子ダブルス 60歳以上 高木 治子・池内 瞳
  - 男子70歳以上女子60歳以上混合ダブルス 玉垣 賢治・大江恵美子
- ベタンク(チーム)
  - 一の谷A
- グラウンド・ゴルフ
  - 男子75歳未満の部 玉井 浩
  - 男子75歳以上の部 藤本 政雄
  - 女子75歳未満の部 西谷千代美
  - 女子75歳以上の部 安田アサ子
- 軟式野球(チーム)
  - 高松グリーンクラブ

囲碁・将棋大会優勝者

- 囲碁
  - Aクラス 多田 善則
  - Bクラス 造田 義雄
  - Cクラス 音泉 実
  - Dクラス 末沢 高秀
  - Aクラス 山田 守
  - Bクラス 香川直三郎
- 将棋
  - Aクラス 山田 守
  - Bクラス 香川直三郎

シルバール作品展最優秀者

- 日本画の部(応募総数十二点)
  - 最優秀 前田 清光 「廃屋」
  - 三崎 暁子 「華」
- 洋画の部(応募総数十七点)
  - 最優秀 榎 哲 「明けゆく棚田」
  - 嶋田 幸子 「陽光」
- 彫刻の部(応募総数十一点)
  - 最優秀 松本 匠 「アフリカの女」
  - 東 徳 「阿弥陀如来立像」
- 工芸の部(応募総数十六点)
  - 最優秀 三木 徹 「東雲」
  - 熊谷 晃 「灰釉流紋壺」
- 書の部(応募総数十六点)
  - 最優秀 金田スミ子 「春」
  - 山下マサエ 「平常心是道」
- 写真の部(応募総数二十点)
  - 最優秀 山崎 雅信 「憩」
  - 廣瀬 健一 「熱気球」

ねんりんスポーツ交流大会



平和憲法に思う



高松市  
宇田穎悟郎  
(74)

あの、怪しげな女装の俳優、美輪明宏がNHKのテレビで語ったことがある。

「自分は国際文化都市・長崎で生まれ、愛と美の恵まれた人生を送れるはずであった。が、戦争のため、知性や教養も何もない軍人たちに蹂躪され、拳句の果てに、原爆にまで見舞われてしまった。この悔しさを思うと、早死にまでできやしない」と。

金髪に真紅の衣装を纏った彼の語気は鋭く、戦争反対・憲法改正反対である。「あれはアメリカが作ったもので自前じゃないと言う人もいるが、それならば明治憲法にしてもプロイセンのものを全部手本にしたではないか。いいものは変えてはならぬ」と主張する。

彼は一九三五・昭和一〇年生まれだから、戦争の罹災は、四

つ年上の僕の方が酷かったかもしれない。しかし、彼ほど男らしく本音を公言する機会も勇気もなかった。

毎朝、犬を連れて散歩する山辺の道に墓地があり、そこに故陸軍上等兵の碑がある。

兵の位から推測すれば古参兵で、若い妻と幼い子等、父母を残して中国の大地に散ったのであろう。お国のためとは言え、その無念さは如何ばかりであったろうか。そして今日なお燃え盛る反日抗日運動の一因ともなれば、犬死である。

現在、憲法論議がなされているが、「どんなことがあっても戦火を交えてはならない」と、明記せねばならぬ。

「遅かったのオ…」



高松市  
東條千恵子  
(75)

「遅かったのオ…」と待ちかねた様に云う夫の言葉。妻の外出をも嫌う夫が偶に外から帰った妻を迎える玄関でのシーンである。まさに濡れ落葉である。妻にくっついて離れないのである。

健康で経済的にも余裕があり時間もたっぷりある夫婦。第三者から見ればいつでも何処へでも行きたい所へ行ける非常に恵まれた老後である。「美術館へでも行ったら…」とす、めても「そんなもの興味がない」とおっしゃる。妻の行動にも制約をつけ、偶の妻の外出の時は車で送迎は欠かさず「年中監視されてる様」と妻は云う。自然と友人も減り話題も少くなる。「ボランティアでもすればいいのに」と思うが。

人から誘われた時出て来なければ次は誘わなくなる。誘われたら必ず出て来るようにすれば話題が出来、たのしくなる。

先日同窓会で遠方まで行って来た。美人で姿勢も良かった人が前屈みのおばあさんになって

いる人の多いのに驚き年は取りたくないといくづく思いつて帰って来た。

いつも人前に出て行って何かをしよう。それがその人の眼の輝きを増すようである。

昨年直島美術館地中館を見て来た。安藤忠雄設計の美術品は建物である。照明を全くつけずに自然光だけで地中を明るくした稀有な建物である。四月には西植田の芝桜を全盛の時に丁度行き当った。今月は坂出の東山魁夷美術館へ行き見終った所にあるラウンジから見た瀬戸内海は絶景であった。帰りに元鎌田庭園の香風園でお抹茶と干菓子のおいしかったことと二百円と云う値の安さ。思わぬ収穫であった。

今度老人会の人達を誘ってぜひ香風園と満濃公園をおとすれよう。一日コースで。平日にいつか行った市内の平家物語館。見学コースの最後に琵琶法師が語る謡曲の場面で観客のアベックがいつまでも動かない。ところがこれも人形であったのには皆大笑。

青春おたより倶楽部

# 短歌・俳句・川柳

## 短歌

坂出市 西山 和孝  
三度目は特攻船で発つ父と  
終戦近く佐世保の別れ

手際よく酢合わせ具入れ寿司作る  
妻の作りは味も抜群

山本町 小山きよ子  
泣き笑ひ人世種々に積重ね  
老の都は黄昏となる

目も見える耳も聞こえる口も効く  
手足自由に御飯美味しい

丸亀市 鶴岡 郁子  
句友逝きてよすがのダリア大輪に  
在りし日憶ふ紅白咲けり

高松市 花房 公子  
興飛驒の白樺林をバスに見る  
またたびの花白く咲き満つ

高松市 久保 信行  
玉碎を覚悟せし身がながらえて  
今日米寿の誕生日祝う

子にゆずる財産のなき老二人  
呆けと病気に氣をくばる日々

## 俳句

高松市 杉山 忠義  
文月や吸うか緑の早朝散歩

お早うと啼きし掌蟬休め  
葉月よと父母に迎え灯六十歳の記  
園の蓮梯子と駈けて飛来峰

綾南町 大西 輝明  
天空に聳え泰山木の花  
白樺の若葉明りの目覚めかな

蛭飛ぶ溪谷広く深きかな  
溪川の絶ゆることなき水澄める  
青空へ黄色明るく仏桑花  
蛸の声夕暮れを早めけり

山本町 小山きよ子  
秋野菜夢がふくらむ種袋  
焼く揚げる漬ける煮物や茄子料理  
有難し新米拝み箸を取る

坂出市 西山 和孝  
艶やかな羽化殻手にし鳴く蟬を  
花火見て音が追いくる我が窓辺

丸亀市 鶴岡 郁子  
傘寿来て恙がなくあり秋夕焼  
晨朝の今開きたる鉄線花

さぬき市 高橋 昇  
祭り済み犬と婆つちやが島守る  
口笛を吹いたら曲る秋茄子  
廃屋の暮らしの証洪団扇

満濃町 小路 清  
日向ぼっこ家猫膝に句考かな  
置き忘れ老年増す身眼鏡数  
招かれて戦友宴に上下無し

高松市 久保 信行  
乗りし駅降りたる駅も菊薫る  
妻と出て行くさき異に文化の日

## 川柳

東かがわ市 木村 晃  
包装紙替えて中身が里帰り  
幾山河越えた夫婦の秋日和  
名月を種に一本提げて来る

断崖の雨は下から降って来る  
虎落笛鳴らして寒気団が来る  
北風に耳タブ持つて行かれそう

坂出市 西山 和孝  
電柱の影をとらえて信号待ち  
夏祭り中止の雨もよろこびに

山本町 小山きよ子  
孫ら来て婆々の財布軽くなる  
過不足の無い雨がいい無理を言ふ  
怠け癖ついて暑さの後遺症

観音寺市 合田 敏行  
国よりもきつい我が家の改革案  
留守番と書きたい俺の職業欄

高松市 久保 信行  
まだ歩く希望は捨てぬ車椅子  
君が世がうまく歌えてまだ達者



### ●投稿募集!

短歌・俳句・川柳の投稿をお待ちしています。紙面の許すかぎり多く掲載したいと思います。

### ●応募方法

官製はがきに住所・氏名・年齢・電話番号を記入のうえ、  
〒760-0017 高松市番町一丁目10番35号 (財)かがわ健康福祉機構 長寿社会部 まで

# シルバー 作品展

## 第15回 香川県健康福祉祭シルバー作品展

◆部門/日本画

◆審査員/北地 孝 (香川県美術家協会副会長)



最優秀賞

作品/「廃屋」

作者/前田清光 (76歳) 土庄町

【講評】木造家屋の構造がよくデッサンされ、材質感がうまく表現されている。廻りの樹木と一体となった空間の中に、時を経た廃屋の存在感が強く感じられる。



最優秀賞

作品/「華」

作者/三崎暁子 (61歳) 詫間町

【講評】バックの水平空間に垂直のモチーフの画面構成がモダンであり、百合の花を造形的に面白くとらえている。岩絵の具の重厚な絵肌と、はんなりした配色が美しい。

◆部門/洋画

◆審査員/四宮金一 (洋画家)



最優秀賞

作品/「明けゆく棚田」

作者/榎 哲 (74歳) 仁尾町

【講評】明けゆく田舎風景を大胆に構成し、渋い色感でまとめ上げた作品である。魅力的であるし、現代性のある作品で好感が持てました。



最優秀賞

作品/「陽光」

作者/嶋田幸子 (66歳) 高松市

【講評】木の茂みそして木の葉の間からさし込んでくるまぶしいような光、葉の間から覗く空、木の葉を通してまでも光を感じさせてくれる表現はみごとである。



A black and white portrait of a man with a mustache and glasses, wearing a dark kimono. The background is a plain, light-colored wall.

ふるさと探訪

# 宮武外骨

稀代のジャーナリスト。権力に反抗しその弾圧にもめげず生涯新聞、雑誌を出版し続けた。その数凡そ二百有余。筆禍事件のチャンピオン。入獄四回。罰金刑十五回。発売・発刊禁止十四回の記録保持者。『過激にして愛嬌あり』を看板とした。大正の大震災に遭遇。新聞・雑誌が焼けるのを目前にして保存を思い立つ。『明治新聞雑誌文庫』の設立である。明治文化研究に無くてはならない「宝庫」となる。

### 早熟の子・亀四郎

「余は過激な議論を唱えること、猥雑な記述を好むこと、この二つが癖でこれが余の長所であり短所だ」と自ら語っている。どのような経緯をたどってそんな人間になっていったのか興味のあるところである。執筆者、編集者、発行者として多くのペンネームを所有する。当然であろう。明治源内、讃岐平民、廃姓、外骨蔵六庵主人と暇がない。慶応三年一月十八日、綾南町(旧)羽床の地主・宮武吉太郎・マサノ夫妻の四男として生まれた。年に五百石の小作収入があったというから裕福な家庭で育った。家庭教師による「大学」の素読から始まり高松藩儒者のひとり三野弥平の「榮義塾」で四書五経など漢籍を二年間学ぶ。十三歳の時、当時出版されていた滑稽風刺雑誌「团团珍聞(まるまるちんぶん)」「驢尾団子(きびだんご)」などを耽読。大いに刺激されその後の生き方に強い影響を受ける。少年なのでどの程度理解できたかは別としてこれまでになかった面白さに取り付かれていった。

### 友人と上京

十四歳を過ぎると綾川の河原で友人と酒盛りをした。さらに土地の美人と恋をして両親を捨てようかとさえ思ってしまう。早熟ぶりである。十五歳、友人の竹内卯八と上京。本郷元町の進文学舎「橘香塾」で漢文を学ぶ。地主の子に洋学は必要ないといわれ漢学を選んだが、後々これを大変悔いていた。洋学には高田早苗、坪内逍遙ら錚錚たる講師陣がいた。帰郷後南海日報に屋山旭影、宮武昭のペンネームで盛んに投稿

する。十七歳、本を出版すると親から三百円をもらったが当時珍しかった自転車衝動買いし乗り回し注目される。高松西新町に珞珞社を創設、「日本事物嚆矢沿革抄」「抱腹絶倒大笑府」「戸長品評会」など十八点の出版を新聞で広告したが、予告だけで終わる。十八歳で本名・亀四郎をすて「外骨」を自分の強い意思で改名。当時の成島柳北、朝比奈智泉ら一流の新聞記者に憧れジャーナリストとして立つ志を固めた。

### 再度上京

「西村房子と同棲、反対されると五百円を持って房子と上京、兄嘉平次経営の東京学館で手伝いをする。十九歳で東京日々新聞に「頓智協会(讃岐平民宮武外骨)」設立を予告。二十歳の四月「屁茶無苦新聞」を発刊、風刺とパロディの効いた街の話題をのせ発行即「風俗壊乱」で発売禁止となり廃刊。発刊業スタートから筆禍事件となる。二十歳までの言動の中に外骨の将来を暗示させることがきつちりと凝縮されて現れているように思えてならない。

二十一歳四月、「頓智協会雑誌」を創刊月二回発行、四千部を売り、二八号まで続く仮名垣魯文、三遊亭円朝らが会員として賑わいを添えた。

明治二十二年、二十三歳。二月日本帝国憲法発布。玉座の天皇(骸骨Ⅱ外骨)が研法を下賜する絵を協会雑誌二八号に掲載。治安妨害罪に問われ身柄拘束、発行禁止、重禁固刑三年、罰金百円の判決。大審院まで上告したが棄却され石川島の監獄に入る。ここで生涯の友となる瀬木博尚と知り合う。外骨は瀬木出獄の際身元引き受け人となる。

ここで外骨らしいことを実行する。印刷の作業をさせられていた獄中で、秘密裡に囚人から投稿を求め、石川島獄中苦楽部名で前代未聞の獄中紙「鉄窓詞林」を印刷発行。発覚後直ちに部署変えをさせられた。

### 朝日、毎日と肩を並べる

明治三十二年三十四歳の春、大阪で「滑稽新聞」を創刊。月二回発行、二十頁、八年間、一七三号まで続く。明治三十七年警視・萩欽三が賄賂を貰ったことを探り数年に亘り追及の記事を掲載し続けた。六五号の記事が官吏侮辱罪で再び重禁固刑三か月、罰金七円、大阪堀川分監に投獄される。この時、友人三十人余を招き平野町堺卯楼で赤飯五斗を炊いて「入獄祝賀会」を盛大に催し官憲なんのその奇才ぶりを発揮。この後、「我が輩と社会主義」創刊。これが再び治安妨害罪となり、禁固刑三か月を言い渡された。また、中之島銀水楼で「入獄送別会」をさらにこの後同種の宴会を二回催している。明治四十一年、滑稽新聞六五



人気のあった「滑稽新聞」表紙



明治文化研究になくはならぬ明治新聞雑誌文庫

号が秩序風俗壊乱罪に。次々と起こる言論  
 圧迫に外骨がキレた。同誌一六九号を「自  
 殺号」と称して四頁に亘り受罰史を掲載。  
 人気絶頂で八万部を発行。当時、大阪朝日  
 が二十万部、同毎日一三万部だったが個人  
 の発行物としてはピカ一だった。

### 明治文庫に情熱

第一二・三回衆議院議員選挙には選挙違  
 反告発候補として出馬、有料演説会はいつ  
 も満員だが二五九票で落選。外骨の反権力  
 精神は体質的なものでなく、彼の血流  
 の中には何か伝統的な反抗精神が潜んでい  
 たのかも知れない。関東大震災の際、目の  
 前で新聞、雑誌が無残にも燃えていくのを  
 見て「明治文化」の保存を思い立つ。すぐさ  
 ま「震災画報」を出版。その翌年、東京大  
 学・法学部教授・吉野作造らと「明治文化  
 研究会」を発足。昭和元年、瀬木博尚（博  
 報堂社長）がそれにポンと十五万円を寄付  
 してくれた。それをもとに

法学部内に新聞雑誌保存館  
 を設置。外骨は同館事務主  
 任となり全国の新聞雑誌の  
 収集に取り掛かった。現在、  
 「明治新聞雑誌文庫」とし  
 て充実、明治文化研究の宝  
 庫として避けて通れぬ場所  
 となった。新聞一九〇二種  
 （七千冊）、雑誌六一三九種  
 （四万五千冊）、図書五一七  
 五種（八千冊）、マイクロ  
 フィーム一萬リール、外骨  
 関係図書二六七冊。まさに  
 膨大な明治文化が収められ

ている。これを作り上げたのが外骨である。  
 外骨の面白さは、そのしつっこさ。批評  
 精神の凄さ。露骨即物精神だという。それ  
 が滑稽新聞に良く現われている。正義感に  
 基づき不正を徹底的に攻撃。エログロ表現  
 絵遊び。文字遊びなどの一面がある。こん  
 な一面も。「筆禍史」を出版したとき、徳川  
 時代の発売禁止図書展をひらく。これを見  
 たい人は筆禍史を買え本の中に入場券あり。  
 これで一千四百冊を売る。このように自分  
 の特異な考えを次のように表現する。「哲学  
 上理想主義」「政治上進歩主義」「経済上実  
 利主義」「宗教上楽天主義」「編纂上遊び主  
 義」「発行上金儲け主義」。権威に屈せず  
 高貴に淫せずゆすりもやらずはったりもせ  
 ず、独特の癩癩を経糸とし色気を横糸とす、  
 過激にして愛嬌ありと自ら評した桁外れの  
 ジャーナリストだった。

小川太一郎（フリーライター）



「明治文庫（通称）」内の  
 外骨文庫と外骨

## 一日長寿大学開催の記

「かがわ長寿大学いちよん会」 岡田 紀一

平成一四四年長寿大学入学者の同窓会「いちよん会」が発足して、本年は二巡目。そのトップイベントを去る七月六日、一日長寿大学として実施した。内容は会員宛の案内状からご推察いただけると思うので、一部引用する。

「……本年度のまず最初の事業は、総会時の予告どおり一日長寿大学としました。たった一日ではありますが、感動・有意義のあの二年間を凝縮して二時間の講義を楽しみたいと思います。ワクワク・ドキドキ・いきいきの知的刺激と興奮が総会記念講演で日野博夫先生が説かれたPPN（びんびん長生き）につながることを念じて……」

〈会員の夢をかたちに〉

当会の事業計画は、三か月サイクルで年間四本。七月講演会、十月フリープラン、一月新年会、四月総会で、正副の幹事四名が輪番で企画を担当する。総会に続いて講演会も担当する巡り合わせとなった私は、正直頭を抱えた。総会への動員策として午後記念講演会をセットしてしまったため、二回続けてまたも、では能がなさすぎるからだ。考えた末閃いたのが一日長寿大学。日頃から往時を懐しむ会員の声の多さに、何とかあの感動を今一度と夢見ていた学びのスタイルを再現しようとした次第。特に「夢なくして計画なし。計画なくして実行なし」である。

〈全てをそっくりそのままに〉

講師は初登場の郷土の先生方を、とのコンセプトで人選。一人は私がお世話になった作家の佐々木正夫先生に「讃岐文学散歩」を。もう一人は森川昌子幹事が高松市老人大学で接した元瀬戸内海放送常務・多田羅重信先生の「マスコミ報道と暮らし」。

当日は教室・座席から時間割、受付体制、昼食休憩の方法まで全てにわたり長寿大学の一日を忠実に再現した。もちろん、丸山先生の名調子の講演紹介、講義終了時の挨拶や事務連絡もそっくり



▲全体の風景。講師は多田羅重信先生

〈想定外のアクセシビリティも〉

参加者は会員百二十八名中百二名で、総会時の百五名に次ぐ盛況。全ては準備万全、シナリオどおり、成功裡にと総括したいところだが、佐々木先生が一時間遅刻のハプニング。所在を求めて右往左往したが、先生は「時間調整のために喫茶に寄ったのが失敗」とお詫びの弁。こんな事態にも大きな不満、騒ぎも起こさず耐えていただいた会員の度量の広さに幹事一同胸を打たれた。改めて心から感謝申し上げたい。



▲時間を気にされる佐々木正夫先生

り真似させていただいた。肝心の講義の方は、佐々木先生が琴平・菊地寛・壺井栄に的を絞って文化の香り高い話を展開されたのに対し、多田羅先生は実学的。元ニュースキャスターとしてマスコミ界の実情と裏話、名古屋場所に因んでの大相撲豆知識などを披露。熱気に包まれた会場の雰囲気、思わずサムエル・ウルマンの詩「頭を高く上げ、希望の波をとらえる限り、八十歳であろうと青春を生きているのだ」という結びの一言が浮かび、感動を覚えた。

史跡探訪ウォーク「かがわ長寿大学二年」 川井 光敏

**私** 達、長寿大学二年生で「健康づくり」「史跡めぐり」等をめざす人達で、今年に入って四回、史跡探訪ウォークを行ってきた。

一回目は、一月十五日、由緒ある寺社が多く散在する宇多津町内の約五キロのコース。

JR宇多津駅に集合。小雨の中、二十五名が元気にスタート。

最初に訪ずれた宇夫階神社。この本殿の裏には、町指定天然記念物の巨石があり、その大きさに驚く。

本妙寺、郷照寺、浄泉寺を巡り、四国霊場七十八番札所の聖徳院へ。聖徳大師幼少の立像を見る。南隆寺、多門院を巡り、円通寺で湯茶の接待をいただき昼食。

午後は、西光寺で年一回しか公開しない全国的にも数少ない、船屋形をした茶室を見ることができた。

最後に、聖通寺を巡りJR宇多津駅へ帰着。二回目は、三月十九日丸亀市の本島めぐり。

JR丸亀駅に集合。参加者は五十名。フェリーで三十五分の船旅を楽しみ本島へ。

**史** 跡塩飽勤番所では、吉田智彦様から本島の歴史について詳しく説明を聞いた。

つぎに、塩飽水軍の根拠地、国の重要伝統建造物群保存地区の笠島の町並みを見る。狭い道路が網の目のように通り、町屋形式の住宅が建ち並んでおり見事な美観を作っている。

今回、本島を訪れてみて、すばらしい歴史と伝統に彩られた島であることを実感した。



三回目は六月十日、田園風景の中に貴重な遺跡、文化財が多く散在する岡山県の吉備路。JR備中高松駅を起点に、終点をJR東総社駅までの約十キロのコース。

総数二十名、のどかな田園風景が広がる中に存在する高松城跡、造山古墳、国分寺尼寺跡、備中国分寺、作山古墳と総社宮を巡り、全員終点の東総社駅に着いた。

今回の史跡探訪ウォークでは、最も身近に前方後円墳等を見ることができ、その規模の大きさ等に、古代吉備王国の勢威を偲ぶことができた。

四回目は、九月十六日、JR八十八場駅からJR府中駅までに散在する遺跡や仏社を巡る約八・八キロのコースです。

最初に、四国霊場七十九番札所の高照院。本堂前のお線香が立ち込める中、本堂や大師堂にお参りする。つぎの白峯宮はすぐ隣り。

「八十八場の泉」へ。ここはトコロテンが有名。早速注文。ごちそうさまでした。

つぎに、醍醐寺塔跡、西鴨神社、入江墓地宝塔、城山神社、鼓岡神社、讃岐国庁碑へ。

最後の、香川県埋蔵文化財センターへ。係員から、出土品を前に、讃岐古代について話を聞き、また、復元された弥生住居に入り、当時の生活の様子に思いをめぐらした。

**今** 回の史跡探訪ウォークは、崇徳上皇、菅公にまつわる遺跡や寺社の遺構等多く接することができ、古代を偲ぶロマンのコースではなかったかと思う。当日の参加者四十四名。

の

わ話

# 老人クラブだより

両団体とも、平成16年度「第21回香川県老人クラブ大会」にて優良老人クラブとして受賞された団体です。

## 友愛訪問と奉仕活動

庵治町老人クラブ連合会 新開地区会長 田村 露子



人は十人十色とよく言われているが、怒ったり泣いたり、笑ったり慰められたりと、様々な人生を歩んでいる。この頃新聞、テレビ等ではテロ、戦争、不況、倒産など、暗いニュースばかり伝えられる。お腹を抱えて笑うことが一日の内に何回あるだろうか。年を重ねる毎にだんだん減って行くように思う。

私達の新聞地区では、十年程前から友愛訪問活動に取り組んでいる。ねたきりの人、身体の不自由な人、独り暮らしの方々を訪問するが、時には施設へ入所している人の所へも行っている。顔を見ると昔話に花を咲かせ、とても喜んでくれる。

## 健康「身体、心、財布」でガンバロウ

国分寺町老人クラブ連合会 第三西クラブ会長 吉田 正

国分寺町は、香川県のほぼ中心に位置し、四面山に囲まれた、盆地状で歴史と文化の町であり、平成十八年一月十日には、高松市と合併することが決定しました。

本町も六十歳以上が五千六百余人二十二・六%になります。会員は九クラブで約千名です。各事業及び部活動について紹介します。まず四月末に総会、六月には一泊二日の研修旅行、七月、郡のゲートボール大会、八月からソフトボール部県、四国大会、十月、県の自転車安全運転競技大会（高松市総合体育館）十一月、明生大学と老人クラブ合同運動会、選手、応援団で町民体育館は満員になります。年末、年始に会長杯の卓球大会、囲碁・将棋大会、又カラオケ部は、春の発表会、花見、七夕祭り、秋の発表会、忘年会等活躍はしていますが年々会員は減りつつあります。その他交通安全全部、毎月三十日朝のラッシュ時に街頭指導、通学、通勤の交通整理、誘導、保健体育部、ベタンク、グラントゴルフ、



る。また身障者の方で、車椅子を上手に使用して家族の食事、掃除などをしているのに出会うと、私達の方が教えられる。元気でこうして訪問することが出来る幸に感謝している。

もうひとつの奉仕活動として、私達の地区周辺の清掃活動である。自治会館、神社、海岸などの清掃は恒例になっているが、特に八月の第一日曜日には、墓地の清掃活動を三十人余りで行っている。午前六時に集合、男性は草刈機、女性は鎌などで草刈り、刈り取った後片付などである。暑い日射の中で汗まみれになって草との格闘が続く、一時間半程すると見違える程きれいになる。清掃した墓地でみんなと掌を合わせて作業は終る。ご先祖様への感謝で満ちたりた一日になる。



フラダンス等、奉仕部、神社地区神社小公園の清掃、手入れ月一回、道路、水路掃除、友愛活動十六年度実績十六チーム訪問対象者四十三名（男十、女三十三）訪問回数延べ三百八回です。三月二十日芸能グループで慰安会を開催しました。ソフトボール部、部員二十八名、年齢五十九歳〜七十六歳練習は町中央広場で毎週水、土曜日七時三十分から約二時間、年間交流試合約十ゲーム県他公式試合七ゲームです。十六年、十七年香川県代表して四国大会（高知）に出場、十一月五、六両日友好都市、表敬訪問として栃木県の国分寺町へ全員、楽しみです。

合同運動会についてね君が代斉唱等セレモニー後、一斉体操輪まわし、ボール送りビン引きスプリンレース、玉入れ（全員）輪投げ傘人バトミントン、ゲート通し、交通安全（自転車）模範演技、総踊り、汗をながした後はおいしいお弁当で舌つみ①クラブ⑥クラブ対抗の成績を反省しながら、話し合い友情をたしかめ合います。

参加者の中には身体は多少悪い人がいますが、助け合いクラブの為全力でガンバります。目の輝き笑み活気はすばらしく感じます。健康で楽しい毎を送り、心も身体も元気で長生きし生涯青春をめざします。



## 編集後記

◆読者の皆様、お元気ですが。長寿社会への総合情報誌「生涯青春」六十二号をお届けします。

◆本年、香川県は平成六年以来の異常渇水に見舞われ改めて水の大切さを痛感したものです。また、地球規模の環境問題では、地球の温暖化、オゾン層の破壊、酸性雨、森林、特に熱帯林の減少、野生生物種の減少、砂漠化、海洋汚染、有害廃棄物の越境移動、開発途上国の公害問題等が言われております。香川県においても、環境立県づくりを目指し、きれいな水や身近なみどりづくりが掲げられています。

◆先日（平成十七年度版）「高齢社会白書」により、六十五歳以上の高齢者が総人口で占める割合を指す高齢化率が過去最高の十九・五%となり、九十歳以上の高齢者も初めて百万人を突破、百歳以上も二万三千人を超えるなど超高齢社会の到来が予想されている。特に、出生率の低下や若年層の人口減少が続くことから、職場や地域活動での高齢者の積極的な活用を促しております。香川県においても平成十六年度の高齢化率は二十二・六%となっており、全国十九位と高齢化が進んでいます。特に、香川県においては平成十七年から平成二十二年には後期高齢者（七十五歳以上）が、平成二十二年から平成二十七年には前期高齢者（六十五〜七十四歳）が大幅に増加すると見込まれており、自分なりの介護予防対策を充分に考えておきましょう。

◆「第十八回全国健康福祉祭ふくおか大会」が「長寿の話 ひろげて人の輪 アジアの和」をテーマに去る十一月月中旬に福岡県十五市一町で開催されました。香川県選手団の皆さんはよく頑張りました。また、美術展（書の部）では、金田スミ子さん（高松市）が厚生労働大臣賞に輝きました。おめでとうございます。

◆読者の皆様の忌憚のないご意見・ご感想などをお待ちしています。

◆次号は、来年四月一日発行の予定です。

# 体験型展示場 福祉用具 なんでも館

「福祉用具なんでも館」は見る・聞く・知る・試すことができる新しいスタイルの展示場です。福祉用具のアイテム数は、電動ベッド・車いす・入浴・歩行・排泄補助用具・コミュニケーション用具など400点を常時取り揃えており、香川県屈指の規模としています。福祉に関する情報発信の場として、ご利用者様とのフィッティングの場として最適です。是非ご利用下さい。

## 展示コーナー

最新の機種から取り扱いのしやすい機種まで、数多く展示しております。



入浴介護用品



歩行・歩行関連商品



特殊寝台



排泄介護用品



運営業務受託企業 株式会社トーカイ



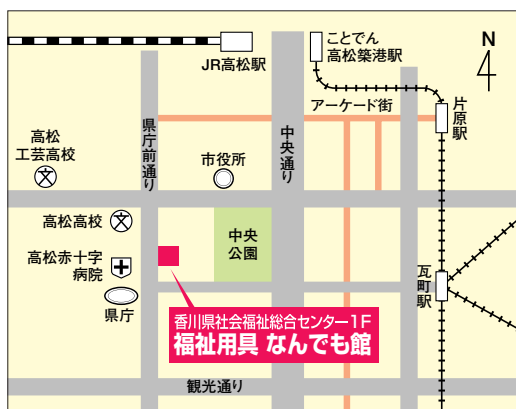
シューズ各種



車椅子関連商品

## 体験コーナー

住居部分では、トイレや浴槽の改修シュミレーションや車椅子体験等も行えます。



香川県社会福祉総合センター1F  
福祉用具 なんでも館 (地下有料駐車場有り)

TEL 087-835-3534

FAX 087-835-3341

ご利用時間：午前9時～午後5時

年中無休 (12月29日～1月3日は除く)

## 香川の伝統的工芸品



### 【ながひばち 長火鉢】

長火鉢は、居間には欠かせない室内調度品の一つでした。胴には、固くて丈夫な櫟に光沢を出すために漆を塗るとともに、小物などを入れる引き出しには、鉄金具を取り付けたりします。この美しい木肌と重厚なつくりは、私たちの暮らしに潤いと安らぎを与えてくれます。

## 財団法人 **かがわ健康福祉機構**

〒760-0017 香川県高松市番町一丁目10番35号

香川県社会福祉総合センター 5階（長寿社会部）

電話 087-863-0222 FAX 087-863-0090

ホームページアドレス <http://www.kagawa-swc.or.jp/home/>

回覧

**R100**

古紙配合率100%再生紙を使用しています

印刷/株式会社 成光社

お早めにご覧いただきありがとうございます。